

問 複式学級に対する考えは

答 やむを得ない

大崎

精華小学校が複式学級を
していることに対して教育
長の考えは。

川上教育長

2年生が10名、3年生が
6名で複式学級になった。
2学級を1名の先生が受
け持つので先生が1名減り、
きめ細かな対応・指導に大
きなデメリットと考える。
先輩に学び、後輩を指導し
ていくというメリットもあ
る。

また、町が進めている問
題解決型学習がデメリット
を減少させると考えている。
子どもたちが疑問とか課題
を持ち、友人を通して意見
を聞きながら自分の答えを
修正していくスタイルを進
めている。

精華小学校ではより良い
カリキュラムや授業の進め
方を研究している。校区の

池田町長

児童数の減少によるもので
国の法律で定められており、
やむを得ないと考えている。

精華小学校は今後50名程
度で推移していくと見込ん
でいる。複式学級がデメリッ
トだけでなく、それぞれの
学校の授業の進め方によつ
て子どもの目線に合った特
色ある学校づくりでフォロ
ーしていけると思っている。
子育て支援・若者定住対策
を積極的に進め、児童の確
保に向けて推進していきた
い。

大崎

現在2・3年生が1名不
足、何年か先にも1名不足
で複式学級をしなければな
らない。若者定住・ステッ
プ住宅を精華小学校区に建
てる等の検討や、町内に若者
や子どもを増やすための意
見を聞く。

池田町長

児童数確保と教員配置が
大きな課題。転入等に対応
し空き家の移住促進を推進
する調査をしている。
教員確保は県に要望して

いるが現状は大変厳しい。
子どもたちや保護者のた
め、より良い学校づくり
に向け最大限の努力をして
いく。



複式学級の授業風景（精華小学校）

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です

3月・12月（本庁舎議場）

6月・9月（西庁舎議場）

大勢の傍聴をお待ちしています